－ろう・難聴者が主体となって学び合おう－

昨年、長崎市で第２５回全国討論集会が開催されました。四半世紀にわたり「ろう教育を考える全国討論集会」は「ろう教育への手話導入」をスローガンにしてろう教育の変革に大きな役割を果たしてきました。

現在は「乳幼児期からの手話導入」が全国的に普及してきており、「手話導入」の役割はほぼ果たせたと言えるでしょう。

しかし、言語としての手話と日本語の二言語習得の課題や人工内耳装用児の増加に伴う課題などにも直面しており、「全国討論集会」も参加者の減少、主管団体の財政的負担、「ろう教育への手話導入」に代わる結集目標など、相互に連関する課題をかかえています。

「ろう教育全国集会のあり方を見直したいので、そのきっかけとして東京集会を開催したい」という提案により、社団法人東京都聴覚障害者連盟（当時）と、ろう・難聴教育研究会を中心に、新しい教育集会のあり方について話し合いを重ね、東京都手話通訳問題研究会（全通研東京支部）、東京都手話サークル連絡協議会等も加えた実行委員会を立ち上げて、「ろう教育への手話導入」に代わるエネルギッシュな結集スローガンや主張を押し付けることなく多くのろう教育関係者が関心を持てる内容を検討するとともに、分科会数や講師数を減らし、予算規模を縮小するなどより合理的な集会のあり方も検討してきました。

バリアフリーやユニバーサルデザインの普及により、当事者の意思が尊重されるようになってきています。しかし、長い間、保護者や教師、医師や教育委員会等が決定権を持ち、当事者の意見は軽視されてきたろう教育の体質がそう簡単に変わるとは思えません。これからの新しいろう教育を考えるためには、かつての当事者の体験と意見が重要になってくると私たちは考えました。

東京集会はこの当事者主体による改革をテーマに、成人した当事者の主張に注目し、その主張を尊重するとともに、親の立場、教育者の立場からも意見を出し合い、共に歩もうとする人々が結集できる場にしたいと思います。

「手話導入」のように一つの「改革の姿・目的」をめざすのでなく、たとえ試行錯誤であっても当事者性を尊重しながら共に進む「新しいろう教育」を実現したいと考えて、できたテーマが「共に変えよう！新しいろう・難聴教育へ」です。

東京集会を契機に、ろう・難聴教育について新たな視野を持つことのできる集会としていきたいとの願いを込めています。

新しいろう・難聴教育のために、是非東京集会へお越しください。

第２６回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京
実行委員長　粟野　達人

東京集会の開催によせて

昨年の８月１７日～１８日、長崎市において開催された第２５回ろう教育を考える全国討論集会は、全国から４１２名の皆さんに集まっていただきました。障害者権利条約を踏まえ、聴覚障害があると分かったときから、医療関係者だけでなく、療育･教育、障害当事者、関係者等と連携して、子どもが育つために必要な家庭･教育環境を作っていく取り組みの必要性が確認できた集会でした。また、ろう児が手話を共通言語として、いつでもどこでも通じ合える言語環境のもとに、手話と日本語の二つを生き生きと使える教育実践についても学びました。

私たちの取り組みの特徴は、聴覚障害当事者の視点からろう教育を発展させていくことです。インクルーシブ教育への流れにあって、ろう学校は、情報アクセシビリティとコミュニケーションが十分に保障された教育現場として大切であることの共通理解が得られています。そして、手話と日本語の二つを生き生きと使える専門性を構築していくことをろう教育の理念として確立し、また教育実践を広げていくことが重要です。

さて、第２６回集会は８月１日（金）～３日（日）、東京都にて開催されます。主管となる「第26 回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」実行委員会の構成団体は、中心となる公益社団法人東京都聴覚障害者総合支援機構　東京都聴覚障害者連盟の他、ろう・難聴教育研究会、東京都手話通訳問題研究会（全通研東京支部）、東京都手話サークル連絡協議会、全国要約筆記問題研究会東京支部です。重責を担っていただき、私たちを迎えていただきます。

今回は、当事者主体による改革の継続を中心にすえつつ、保護者の立場、教育者の立場他、ともに関わる様々な人々とともに進む新しいろう教育をアピールする企画が用意されています。東京ならではの見学･体験ができる小・中・高校生企画も用意されています。

ろう・難聴児が生き生きと育つろう・難聴教育実現のために学び合う事ができる集会です。ろう学校関係者、保護者、障害当事者団体と協力団体等の皆さん、全国に広く開かれた東京集会へぜひお集まり下さい。

国連･障害者権利条約が、日本で批准･発効されて最初の集会です。全国から多くの皆さまが参加されますよう、心からお願いします。

NPO 法人ろう教育を考える全国協議会
理事長　小中　栄一

開催要項

１．目的

① ろう・難聴児（者）が、手話をはじめとする分かり合えるコミュニケーション環境を保障され、これからの日本を担う社会人として、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴者、保護者、教職員、研究者、手話にかかわる人たち等が一堂に会し討論することによって、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的に東京都において開催する。

② 全国各地のろう教育を考える会の交流を図る。

③ 開催地を中心とする地域の関係者のより一層の理解と啓発を図ると共に、ろう教育を考える会を設立する。

２．東京集会テーマ

「共に変えよう！新しいろう・難聴教育へ」

３．事業名称

第 26 回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京

４．主催

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

５．主管

第 26 回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京実行委員会

（実行委員会構成団体：公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構　東京都聴覚障害者連盟、ろう・難聴教育研究会、東京都手話通訳問題研究会、東京都手話サークル連絡協議会、全国要約筆記問題研究会東京支部）

６．後援（予定）

世田谷区、東京都社会福祉協議会、東京都立ろう学校校長会、東京都立ろう学校 PTA 連合会、東京都立ろう学校同窓会、東京都難聴児を持つ親の会、毎日新聞東京社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、日本テレビ小鳩文化事業団（法人名略・順不同）　　※東京都は助成金支給の関係で後援なし

７．協力（予定）

東京都中途失聴・難聴者協会、世田谷区聴覚障害者協会、トライアングル金山記念聴覚障害児教育財団、全日本ろう学生懇談会関東支部、世田谷福祉専門学校、日本福祉専門学校（法人名略・順不同）

８．開催日程

2014（平成 26）年７月 31 日（木）～3 日（日）４日間

９．会場

メイン：日本大学文理学部キャンパス　（東京都世田谷区桜上水 3－25－40）

理事会・総会：東京聴覚障害者自立支援センター（東京都渋谷区東 1－23－3）

渋谷区リフレッシュ氷川（東京都渋谷区東 1－26－23）

１０．　内容

７月 31 日（木）		理事会
８月１日（金）		理事会、総会、視察団打合せ
２日（土）	午前	開会式・ろう教職員トークセッション
	午後	実践報告＆実践研究・手話講座・芸術ワークショップ・親・家族の情報交換会
２日（土）～3 日（日）		小・中・高校生企画
３日（日）	午前	実践報告＆実践研究・手話講座・芸術ワークショップ
	午後	パネルディスカッション・集会アピール・閉会式

１１．　参加人数

ろう教育を考える全国協議会会員・一般参加者	計 500 名
小・中・高校生企画	30 名

１２．　問い合わせ先

案内書の最後に記載

お申し込みのご案内

申し込み用紙にて必要事項をご記入の上、実行委員会事務局にお申し込みください。

申し込み用紙はHPからのダウンロードも可能です。また、郵送、FAXもしくはメールに添付でのお申し込みも可能です。事務手続きや処理の混乱を避けるため、参加申込の送付と参加等の振込を必ず同時にお願いします。

＜申込先＞　〒１５０-００１１

東京都渋谷区東１－２３－３　　東京聴覚障害者自立支援センター３階

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構　東京都聴覚障害者連盟

第26回ろう教育を考える全国討論集会in東京実行委員会

＜参加費等の振込先＞

りそな銀行　渋谷支店（店番４７３）普通預金　２３９１５４２

（名義）東聴連（トウチョウレン）

※振込手数料は、ご負担をお願いします。

≪ご注意点≫

①　集会参加費　一般参加　6,000円

協議会正会員、協議会賛助会員、協議会地域団体賛助会員　4,000円

※2014年度会費（2014年4月1日～2015年3月31日）の納入を済ませていない方は、一般扱いとなります。会費納入を済ませてからお申込みください。新規入会された場合も会員の参加費となります。

②　盲ろう者の通訳者につきましては、基本的にご自分でご用意ください。都外からの参加者などご自分での用意が厳しい場合は相談に応じます。

③　託児をご希望されている方には、お子様の特徴などについて後日お質問いたします。

申込締切　２０１４年６月３０日（日）

７月中旬頃に、最終お知らせをお送りいたします。

ポスターセッション・教材紹介コーナー
募　集　要　項

１　ポスターセッション・教材紹介について

ポスターセッションは、壁またはホワイトボードなどに図表やキーワードを書いた紙（Ａ３かＢ４）を１０枚程度並べて張り出し、興味を持たれたお客さんに適宜説明をするという報告形式です。

教材紹介コーナーは、ろう教育の現場で活用できる実物教材の紹介をするコーナーです。

東京教育集会では、研究発表や情報交換の手段として、ポスターセッション・教材紹介のできる場所を提供します。

２　ポスターセッションの特徴

① 報告書と聞き手の距離が近く、気楽に質問しやすい。
② 少人数かつ時間の制約がないので、議論を発展させやすい。
③ セッション時間以外でもポスターを貼りだしておけば、自由に見てもらえることが出来るし、時間のあるときに報告者を見つけて説明してもらうこともできる。

３　内容と発表・展示方法

① ポスターセッションはろう教育に関係する研究発表や報告等とします。
② 抽象的な一般論ではなく、体験や実績に基づく具体的な内容としてください。
③ ホワイトボード１枚程度に張り出せる内容とします。
④ セッション時間は任意とします。張り出しだけで説明はしないという方法でもかまいませんが、興味を持ったかたが連絡を取る方法を工夫してください。
⑤ 教材紹介は、机一つに展示してください。不在時の対応（盗難防止、説明文の表示）をご自分で工夫してください。
⑥ ポスターセッションと教材紹介の両方を同じコーナーすることもできます。
⑦ 教材を販売したい場合は、実行委員会と相談してください。
⑧ 情報保障はご自分で対応お願いします。難しい場合は、実行委員会と相談してください。

４　会場、発表・紹介の日時について

① 会場（日本大学文理学部百周年記念館内）については申し込み者に直接連絡します。
② 準備及び撤収は以下の通りです。
　準備　８月２日（土）午前９時～１０時（この時間に準備が困難な場合は要連絡）
　撤収　８月３日（日）午後４時まで（任意）
③ 発表期間は張り出してから撤収するまでとします。

５　発表・紹介者の条件

① 第２６回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京への申し込みをされた方に限ります。参加申し込みをされていない方は、応募できません。
② 発表・紹介者には謝礼はありませんが、昼食は実行委員会が負担しますので、発表者は参加申込書の弁当欄には記入しないでください。
③ 会場警備の担当を配置し、盗難やいたずら等のないように注意しますが、万一の場合は自己責任でお願いします。

６　応募方法

添付されている所定の申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

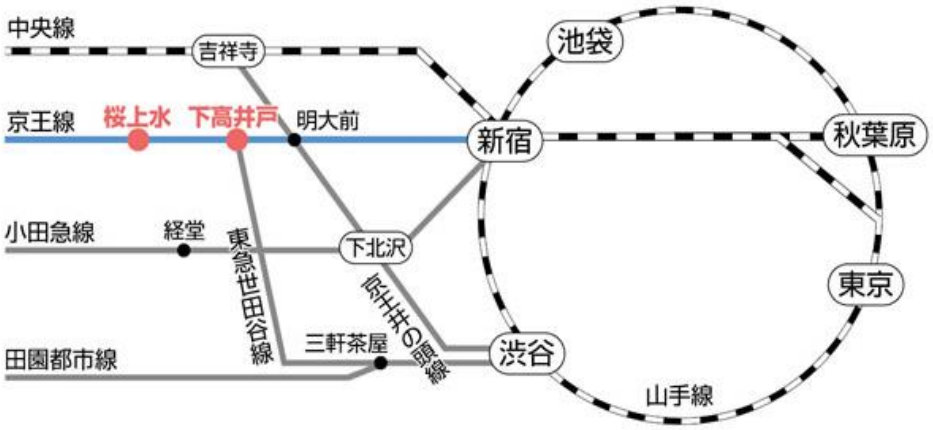
申込締切　２０１４年６月３０日（日）必着（厳守）

会場までの交通案内

会場は「日本大学文理学部　百周年記念館」です。（★マーク）

文理学部キャンパスへの交通手段

※下高井戸駅と桜上水駅両方に道案内をご用意いたします。



※構内に駐車場がありませんので、自動車での来校は、ご遠慮ください。

＜会場（日本大学文理学部）までのアクセス＞

（電車）

新宿駅　－　下高井戸駅　京王線９分　￥１５４（IC）/￥１６０（現金）

渋谷駅　－　下高井戸駅　京王井の頭線　明大前駅乗換　京王線　計１５分

￥１３３（IC）/￥１４０（現金）

下高井戸駅から徒歩約８分　　桜上水駅から徒歩約９分

特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会
会員募集のお知らせ

ろう教育の明日を考える連絡協議会は、1989 年に結成され、毎年、夏に「ろう教育を考える全国討論集会」を開催してきました。本年は２６回目の東京討論集会への参加者を呼びかけています。

また、ろう教育の発展を願って出版活動にも積極的に取り組み、教科ごとの手話の指導書なども発行してきました。

このような実績をもとに、2010 年１月５日に、東京都知事から特定非営利活動法人として認証され新たにスタートすることになりました。

この法人は、「ろう・難聴児（者）が、これからの日本を担い得る社会人として、手話をはじめとする分かりあえるコミュニケーション環境を保障され、いきいきと学び育つことを願い、全国のろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業、研究企画事業、書籍物出版事業、学校支援事業、普及啓発事業の推進を図ることで、全ての人に適切な教育が保障され、自立し共存できる社会の実現に寄与することを目的とする。」としています。

そして、目的を達成するために、以下の事業を行います。
（１）ろう・難聴教育に関する全国討論集会開催事業
（２）ろう・難聴教育に関する研究企画事業
（３）ろう・難聴教育に関する書籍出版物事業
（４）ろう・難聴教育に関する学校支援事業
（５）ろう・難聴教育に関する普及啓発事業
（６）その他目的を達成するために必要な事業

主たる事務所は東京都新宿区山吹町１３０エスケイビルです。
そして、代表理事は小中栄一（財団法人全日本ろうあ連盟副理事長）です。

事業年度は平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日までを現年度とし、各種事業の実施に取り組みます。長崎集会の会場で総会も行われます。
年会費は正会員（個人・団体）１万円、賛助会員は３千円です。入会は別紙をご覧ください。

全国協議会ホームページにも掲載しています。

http://www.normanet.ne.jp/~deafedu/

特定非営利活動法人　ろう教育を考える全国協議会

会員募集のお知らせ

特定非営利活動（ＮＰＯ）法人ろう教育を考える全国協議会では年１回の全国討論集会開催、会報発行、出版物等々みなさまの賛助会費をもちまして活動致しております。ご賛同される方は個人賛助会員に、もしくは地域に「当会に関わる地域団体」（下記の団体）がございましたら「地域団体賛助会員」になることができます。

正会員〔個人・団体〕

年 会 費　１０,０００円　（会計年度　７月１日から翌年６月３０日）

特　　典　１　総会への参加（意見を述べることができます。議決権があります。）

２　会報「ろう教育の明日」(年３～４回発行)の無料送付

３　「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

賛助会員

年 会 費　３,０００円　（会計年度　７月１日から翌年６月３０日）

特　　典　１　総会への参加（意見を述べることはできますが、議決権はありません。）

２　会報「ろう教育の明日」(年３～４回発行)の無料送付

３　「ろう教育を考える全国討論集会」の参加費割引

入会方法　　郵便振替を御利用下さい。

申込方法　　加入者名　ろう教育全国協議会

口座番号　００８２０－１－２０６７５１

地域団体賛助会員　年 会 費　３,０００円　(地域で窓口がない所は上記へ振込)

★「ろう教育の明日を考える連絡協議会」に加入している地域団体

①聴覚障害教育を考える北海道連絡協議会（受付窓口があり、地域還元あります）

②みやぎのろう教育を考える会

③埼玉の聴覚障害教育を考える会（受付窓口があり、地域還元あります）

④愛知のろう教育を考える会

⑤和歌山聴覚障害教育を語る会

⑥広島県の聴覚障害教育の明日を考える会（受付窓口があり、地域還元あります）

⑦福岡県聴覚障害教育を考える会

⑧熊本県聴覚障害教育を考える会

⑨宮崎県聴覚障害教育の充実をめざす連絡協議会

⑩社団法人大阪聴力障害者協会

※　ご不明な点はお問合せください。

笹川和廣（Email：japan-kazu-mt.fuzi3776@zeus.eonet.ne.jp　FAX：　072-834-6319）

ホームページ　http://www.normanet.ne.jp/~deafedu/

宿泊施設のご案内

会場周辺には宿泊施設がありませんが、少々離れたところのホテルを４か所ご紹介いたします。

① **ビジネスホテル経堂** 会場まで徒歩 25 分	世田谷区経堂 1-26-12 （静かなところを歩けます。経堂駅付近には居酒屋などあります）
② **さくらホテル幡ヶ谷** 幡ヶ谷駅徒歩２分	渋谷区幡ヶ谷 1-32-3 （下高井戸駅まで４つ目の駅）
③ **ホテルブーゲンビリア新宿** 笹塚駅徒歩５分	渋谷区笹塚 1-61-8 （下高井戸駅まで３つ目の駅）
④ **ビジネスホテルノーブル** 幡ヶ谷駅徒歩１分	渋谷区幡ヶ谷 2-18-1 （下高井戸駅まで４つ目の駅）

他に、新宿や渋谷の繁華街には沢山のホテルがありますので、インターネットなどで検索の上、予約してください。